

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

恒 見 保 育 園

第三者評価【再評価】に参加することになり、前回の評価を見直すことから始めようと職員で話し合いを始めました。初めに評価に参加してから、数年が過ぎてしまい直後に改善した点もありましたが、そのままになっている項目もあり、まず皆で反省でした。やはり一から見直した方が良いと考え、発達援助の基本である指導計画の見直しから始めました。幸いにも、今年度より保育所保育指針の改定があり「保育課程」が「全体的な計画」と変わりました。そのことから、全職員で園全体の保育方針等をもう一度確認し、各年齢の指導計画に反映するよう、また年齢ごと段階を追って繋がるように繰り返し話し合いを行いました。そのことにより職員同士の連帯が深まり、他の行事などについても意見が出て見直すことが出来たことは有意義でした。

保護者との相互関係において、クラス懇談会を設け4月当初に行っていましたが、4月では、保護者とのコミュニケーションがとりづらいなどの意見が聞かれ見直しを進めています。

地域における役割においても、市民センターでのフリースペースに参加し、子育てのアドバイスや遊びのお手伝いをする中で、保育園の事を知らせたり、園での行事参加を呼びかけたりして、今まで以上の反響があったことは嬉しいことでした。

まだまだ、改善すべきところはあると思いますが、評価に参加したことで気づいた点、励みになったことなどたくさんありました。そして何よりも職員全体の保育に対する意識の向上を感じました。これも第三者事業でのご指導のおかげと感謝申し上げます。これからも地域の保育園として築き上げてきたものを守りながら、職員・保護者・地域とともに保育園のよりよき姿を模索していきます。